看護職が集まり、辞めない組織は何が違うのか？

生きるを、ともに、つくる。
公益社団法人 日本看護協会

看護職の人材確保・定着に向けた
看護職が集まる働き方・労働環境セミナー

看護人材を生かす経営と先進事例から学ぶ、これからの病院経営戦略

多様で柔軟な働き方の推進は、看護職の確保・定着だけでなく、安定した組織運営と質の高い医療の提供を支える重要な取り組みです。
本セミナーでは、多様で柔軟な働き方が組織にもたらす効果や導入のポイントについて学ぶとともに、先進施設の実践事例やパネルディスカッションを通じて、自施設における人材確保・定着と病院経営のあり方について考えます。

参加費 無料
先着 500名

このような方におすすめです

- ☑ 看護職の採用に課題を感じている
- ☑ 離職防止・定着促進に取り組みたい
- ☑ 働き方改革を進めたい
- ☑ 病院経営の視点から人材戦略を考えたい
- ☑ 他施設の取組を参考にしたい

病院長・事務長・看護管理者・人事・総務部門の皆さま など

開催概要

日　時	2027年1月20日(水) 13:00～15:00
開催方法	オンライン開催(Zoomウェビナー)
参加対象	医療機関の経営に携わる看護管理者、病院長、事務長等

プログラム

※プログラムの内容は一部変更となる場合があります

13:00～13:10 (10分)	開会・趣旨説明	・看護職の確保・定着をめぐる背景 ・看護職の多様で柔軟な働き方の必要性
13:10～13:40 (30分)	情報提供	健康経営・人的資本の観点から、労働者のウェルビーイングと人材確保・定着の関係 学校法人早稲田大学 早稲田大学教育・総合科学学術院　教授　黒田 祥子 氏
13:40～14:10 (30分)	事例発表	**国立大学法人 広島大学病院** 副病院長・看護部長　佐藤陽子 氏 ・夜勤の選択制（3交代・2交代12時間）を導入 ・看護職のワーク・ライフ・バランス向上と人材確保を実現 ・長日勤に伴う課題への対応や運用上の工夫を紹介 **医療法人伴帥会 愛野記念病院** 理事長　貝田 英二 氏 ・夜勤を担う看護職の週所定労働時間を32時間に短縮 ・勤務時間の柔軟化により、多様な働き方を推進 ・疲労軽減や家族時間の確保などを通じ、看護職の確保・定着につなげた取組を紹介
14:10～14:55 (45分)	パネルディスカッション	看護職の多様な働き方は、本当に人材確保・定着につながるのか？ なぜ「働き方を変える」選択をしたのか／経営にとっての価値とは／「職場のウェルビーイング」と「組織としての持続可能性」をどう両立するか　等
14:55～15:00 (5分)	まとめ・閉会	

参加すると得られること

人財確保のヒント
採用市場の変化に対する考え方が分かる

定着につながる職場づくり
離職防止のための具体的な取組を学べる

他施設の実践事例
実際の制度や運用方法を知ることができる

経営視点での示唆
持続可能な組織運営へのヒントが得られる

参加申込

本会ホームページまたは右の二次元コードからお申し込みください。
https://www.nurse.or.jp/nursing/shuroanzen/hatarakikata/index.html
※お申込み後に受付完了メールをお送りします。
※定員に達し次第申し込みを締め切ります。

お申込みはこちらから



【問合せ先】公益社団法人 日本看護協会 労働政策部 看護労働課
E-mail: kangorodo@nurse.or.jp